



あすのば新聞

—2020 年春— 第 18 号

発行：公益財団法人あすのば

「入学・新生活応援給付金」1,900 人超に前倒し給付

この春、入学・新生活を迎える子どもたちを対象とした「入学・新生活応援給付金」の最終的な申込者数は、過去 2 番目に多い 5,052 人にのぼりました。申込者の急増に伴い、前号のあすのば新聞では読者のみなさまにご支援のお願いをさせていただきました。おかげさまで大変多くの方々にご協力いただき、当初 1,600 人の定員から増員し、2,030 人の子どもたちに内定を出すことができました。ご支援・ご協力いただいたみなさまに、心よりお礼申し上げます。

一斉休校の実施や卒業式・入学式、春休みのイベント中止など、新型コロナウイルスの感染拡大は、子どもたちの生活にも大きな影響を与えました。新生活に向けた期待よりも、不安な気持ちで日々を過ごした子どもや保護者も多かったのではないかと感じています。あすのばでも、毎年 3 月に実施している小中学生の合宿キャンプを中止することとしました。子どもたちとそご家族の安全を守るためとはいえ、楽しみにしてくれていた想いに応えることができない結果となってしまいました。

この状況下で、あすのばとして少しでも子どもたちの力になれることは何かを考え、当初 3 月 19 日を予定していた給付金の送金日を大幅に繰り上げることにしました。3 月 5 日から送金対応を開始し、3 月 13 日までに 1,903 人の子どもたちへの給付手続きを完了。その後も書類の最終的な確認が取れた子どもたちへ順次手続きを行い、4 月 15 日現在、1,982 人の子どもたちへの給付が完了しています（都道府県別給付人数は右表）。一部、書類の最終確認中の方もいますが、確認が取れ次第、可能な限り早く送金できるように対応してまいります。

給付金を受け取った子どもたちや保護者の方々から、今年もお礼の手紙やメールが事務局に届いています。例年、一部を抜粋してご紹介していますが、今号では許可をいただいた何名かの方のお手紙、メールの全文を掲載しました（2～3 ページに続く）。

↓ある日の事務局のひとコマ。たくさんの申込書が届きました。



北海道	92	滋賀県	46
青森県	19	京都府	28
岩手県	11	大阪府	43
宮城県	66	兵庫県	57
秋田県	12	奈良県	4
山形県	45	和歌山県	5
福島県	5	鳥取県	29
茨城県	7	島根県	35
栃木県	39	岡山県	64
群馬県	8	広島県	33
埼玉県	19	山口県	19
千葉県	5	徳島県	31
東京都	66	香川県	79
神奈川県	15	愛媛県	12
新潟県	16	高知県	6
富山県	0	福岡県	217
石川県	58	佐賀県	29
福井県	30	長崎県	54
山梨県	9	熊本県	93
長野県	41	大分県	23
岐阜県	46	宮崎県	36
静岡県	19	鹿児島県	25
愛知県	63	沖縄県	299
三重県	24	計	1,982

TOPICS

- ・2019 年度「入学・新生活応援給付金」給付者からの手紙・・・P2～3
- ・小中学生合宿キャンプに申し込んでくれた子どもたちへ
合宿スタッフ・子ども若者委員会からのメッセージ・・・P4～5
- ・子どもの貧困対策全国キャラバン in 愛媛 開催報告など・・・P6
- ・2020 年度事業計画・予算・・・P7
- ・「あすのば抄」 大橋 雄介さん(NPO 法人アスイク代表理事)・・・P8

給付金を受け取った子どもたちやご家族からは、毎年お手紙やメールが届きます。例年、一部を抜粋しあすのば新聞でもご紹介していますが、今号では手紙の全文を掲載します(個人の特定につながる文章や画像を加工しています)。子どもたちや保護者の方の率直な声をご覧ください。

中学校卒業を迎えた子どもの保護者から



公益財団法人 あすのば様

この度は娘の為に応援給付金
ありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で卒業式等
いつもとは違う形で行われましたが、身内だけの
あたたかい雰囲気、とても良かったと思っています。

無事 志望校への入学も決まり
春からの準備も整いました。今回の給付金は
学校スタート後に授業で使うiPad購入に使う
事を母娘で話し合いました。

寄付をして下さる皆様とあすのばへの感謝を
込めて...

児童養護施設を退所し、就職を迎える子どもから



公益財団法人 あすのば様

助成金をいただきありがとうございます。私は就職をし、
ひとり暮らしをする中で家具家電や日用品をそろえる
にあたって使っていたのですが、助成金があったことで
知るまでは自分なりに頑張っていたけれど、
いかに助成金があったとしても、不安がっていました。
今回助成金をいただき、様々ものを買えることが、
また、お金に少し余裕をもつことができています。
このようにご支援いただき、自分を応援してくださる方が
いることを知り、これから先も頑張るつもりです。
本当にありがとうございます。

この度は、新入学の準備費用として
給付金を頂き、誠にありがとうございます。
一人ではとても大変な子育てですが、
こうやって皆様の力を貸して子供達もすくすくと
元気に育っております。

新型コロナウイルスにより不安な日々が続きますが、
子供達のパワーで何とか乗り切りたいと考えています。
お陰様で入学準備も着々と進み、子供達も
次のステップへ進む予定です。

良い入学式を迎えられることを心より願っております。
皆様には、とても感謝しております。
本当に本当にありがとうございます。



この度は、新生活応援給付金を支給して下さい、
ありがとうございます。

早速、自転車を購入しました。

本人は、色々な特許生を持っていて、すぐに物を
なくしたり、忘れ物が多かったり、持ち物が壊れたり。
そんな彼が、憧れのクロスバイクを買い、サイクリングで
春休みを楽しんでいます。

公立高校にも無事合格しました。

3年間、がんばって通学してまいりました。

彼が4歳の時に受託し、11年間一緒に生活
してきました。母親の受入れ体制を整い、今春で
委託を解除となります。

自転車で15分程の所が彼の自宅ですので、
時々顔を見せに来てくれると思っています。

本来なら、本人に おれのお手紙を書かせないとい
いけない所ですが、すでに母親の所へ行きつづけて
居りませぬので、私が代筆させて頂きました。

これからも、社会的養護を受ける子どもたちの
ための ご支援を、どうぞよろしくお願い致します。
ありがとうございます。

中学校入学を迎える子どもの保護者から

中学校卒業を迎え、家庭復帰した子どもの里親さんから

きょうだい 3 人が入学・卒業を迎えた保護者から

お世話になっております。

今年度、入学・新生活応援給付金をいただきました子どもの母です。

この度は支給も早めていただき、コロナの影響で生活も苦しい中、大変助かりました。

うちは今年度卒業・入学が 3 人も重なり非常に困難な時期となってしまいましたが、あすのばの給付金のおかげで子どもたちにも満足のいく入学準備をさせていただくことができました。本当に、心から感謝申し上げます。

国からの就学援助も中学生までしか受けられず、高卒・中卒の子どもがいるので本当に助かります。お金が稼げない親が悪い、もっと働かないから悪いという風潮の中、厳しい現状をやさしく受け止めあたたかい手を差し伸べてくださった皆様、またその土台をしっかりと築き上げてくださったあすのばの皆様には本当に感謝の言葉しかありません。

子ども達にも皆様の応援があること、自分も困った人たちの為に何かできる人間になれるよう、しっかりと伝えたいと思います。

この度は本当に、ありがとうございました。

このような時期ですので御関係者の皆様、十分御身体に気を付けてください。

あすのばの発展を心よりお祈り申し上げます。

初めまして、私は「2019 年度あすのば入学・新生活応援給付金」で給付金支給が決定された子どもの母です。

こちらにメールをしていいものなのかわからなかったのですが、一言言いたくメールさせていただきました。

この度、多くの申込者の中から私たちを選んでくださってありがとうございました。

私事ですが、今年私は資格取得のため、大学で一年学びます。

それと同時に子どもの入学があり、正直経済的に厳しい状態でした。

そこにあすのばさんからのお手紙が届き、今の私たちに手を差し伸べてくださろうとしてくれている人がいることに、とても温かい気持ちになりました。

顔を合わせたわけでもないのに、子どもたちの未来のためにと寄付をされる方々がおられると思うと、幸せな気持ちになります。

この手紙が届いた時から子どもにはこんな想いを持った人がいるんだよ、と話してきました。

いつか私たちが手を差し伸べていただいたように、子どもにも困っている人達に手を差し伸べられるようになってほしいです。

本当にありがとうございました。

中学校入学を迎える子どもの保護者から

ご紹介したもの以外にも、多くのお手紙やメールが届いています。読者のみなさまからご寄付と共にお寄せいただいた「(あなたへの想いを寄せている人が)ここにいるよ。」の気持ちは、確かに子どもたちに届いています。温かいご支援を賜りましたこと、重ねてお礼申し上げます。

3 月下旬に「入学式の前に給付金をいただくことができ、本当に助かりました」と、ある保護者の方からお電話をいただきました。しかしながら、3 月末から 4 月にかけて休校期間の延長が発表され、学校再開まで入学式を行わないという地域、式自体が中止となった地域もあり、その子が無事入学式を迎えることができたのか、気がかりでなりません。平時とは異なる状況で子どもたちがより厳しい環境に置かれる中、ご紹介した手紙にもあるように、いっとき安心することができたというところに、給付金の大きな意義があると感じています。

引き続き、あすのばとしてできることは何かを考えながら、事業を継続してまいります。

合宿キャンプ

小中学生合宿キャンプに申し込んでくれた子どもたちへ
～スタッフからのメッセージ～

残念ながら中止となってしまった「2019 年度 小中学生合宿キャンプ」。しかしながら、50 人以上の子どもたちが申し込んでくれたことは、合宿の準備を進めてきたスタッフたちにとっても大変うれしいことでした。感謝の気持ちと、不安な日々の中で少しでも笑顔になってくれることを願い、子ども・若者委員に子どもたちへのメッセージを募集しました。寄せられたメッセージは、4 月中に子どもたちのもとへ届ける予定です。

若者たちから子どもたちへのメッセージを一部抜粋してご紹介します。



子どもたちに会えなかったことはとても残念ですが、みんなで元気でまた別な機会や来年元気な姿をみたいです！いつかまた会いましょう～（マイケル）



ご入学・進級・ご卒業 おめでとうございます！たくさん不安もあると思いますが、みなさんが好きなこと、楽しいことをして、笑顔の日々が続くように願っています。（まりねえ）



ウィルスの影響が毎日取り沙汰される日々に、少し気持ちも落ち込んでしまいますね。制限のある状況で、何をしても過ごそう？と困っているときに、私たちのメッセージがみなさんにとってほんの一瞬だけでも世間の喧騒を忘れられる機会になると嬉しいです。みなさん、体調にはしっかりと気をつけて、そしてまたイベントでお会いしましょう！（めぐ）



今回はコロナの関係で学校が休みになったり、この小中合宿が中止になってしまったりして大変だと思うけど、これも良い経験だと思って楽しんでくださいね！！また、次回やる際には会えることを楽しみにしています！（すばる）



ご卒園・ご卒業・ご入学おめでとうございます。また、ご進級されたみなさんも本当におめでとうございます。僕からのメッセージを送りたいと思います。「世界を見渡すと“常識”はくつがえされる。何ごとにも柔軟に受け止める気持ちを大切に！」これは、高校生のときに担任だった先生の言葉です。みなさんも、思いやる気持ちを持った優しい人でいてください。みなさんとお会いできる日を本当に楽しみにしています。影ながらではありますが、みなさんのことを応援しています。（りょーた）



今回はあすのば小中合宿キャンプに参加申し込みしてくれてありがとう！すっごく楽しみにしてたから、中止になってみんなに会えないのがとても残念です。また機会があればぜひリベンジしてみてね！みんなに会えるの楽しみにしてます！！

最後にひとつだけ。友だちは大変なときに助けてくれるし、なんでも話し合えて自分の世界を広げてくれる最高の宝だと思うから、いっぱい作って一人ひとりを大切にしていってね。合宿に参加したらたくさん友達増えるよ！私も合宿で大切な友だちたくさん増えました😊ぜひぜひ参加してね！待ってます！！（まり）



通常の生活ができない日々が続いていますが、みなさんが新学期新たなスタートを切ることができるよう、影ながら応援しています。(おまき)



小中合宿がなくなり会えないのが残念ですが、また来年の3月に会えることを楽しみにしてます。学校、学年が変わって楽しかったり難しかったりいろいろあると思いますが、楽しんでください😊(かいと)

子ども・若者委員 紹介 No.3-こんにちは！林皓大と小河原唯奈です。-

あすのばの活動に関わる子ども・若者も卒業や入学、新生活の季節です。今回は新生活を迎える林皓大さんと小河原唯奈さんを紹介します！

(林)北海道の高校に通っていましたが、この春に卒業しました！4月からは専門学校へ進学します。新型コロナウイルスの影響で道内でも卒業式をやるどころとやらないところがありましたが、ぼくの学校は卒業式できました。飛行機関係の仕事を目指しているのですが、オリンピックも延期になって、その先の進路にも影響しないか…。

活動には中学生の時に母親から勧められて最初は「めんどくさいなあ」と正直思っていたのですが、参加してみたら年上とか年下とか関係なく仲良く過ごせてすごく楽しくて、全国に友だちもできました。

活動で印象に残っていることは、夏の合宿でみんな一緒にバーベキューをやったことです。いつも合宿でカレーをつくるから驚きました(笑)カレーだと役割を分担してみんなで作るイメージですが、バーベキューではみんな一緒に囲んで会話や交流をより楽しむことができました！

ラーメン屋でアルバイトをしているのですが、休校になった子どもに無料でラーメンを提供していて、役に立つことができてうれしいです。専門学校では、英語の勉強もがんばります！



(小河原)大分の大学に通っていましたが、この春から就職で愛知に引っ越ししました！卒業旅行で大阪に行こうとしていたのですが、新型コロナウイルスの影響でなくなってしまいました。

活動に関わるきっかけは、給付金をもらって夏の合宿に参加したことでした。初めて参加したとき、空港に迎えに来てくれたスタッフが「どうも〜！」ってフレンドリーに声をかけてくれたことを覚えています。活動で子どもの支援についていろんな話を聞いて、元々は教師を目指していたのですが、もっといろんな形で子どもに携わることができるかもしれないと考えるようになりました。IT関係の会社に一度就職して、仕事が休みのときや手に職をつけながら、また子どもたちに携わることができたら良いなと思っています。進路を考えるきっかけをもらい学べて、あすのばの活動に出会えて本当に良かったです！

地元を離れた新生活は、ひとり親で実家にお母さん一人残して「私が一人できみしい」というより、お母さんを一人にしてしまった」という気持ちもあって、正直めっちゃめっちゃ楽しめているわけではないです。就職して最初は自分のことでいっぱいになるかもしれないけど、次の子どもたちのために自分ができることを考えながら、新生活も頑張りたいなって思っています！

2人のほかにも卒業や入学、新生活を迎えた子ども・若者委員がたくさんいます。また、新型コロナウイルス感染拡大は彼ら自身の生活にも少なからぬ影響を与えています。今後、Facebook・あすのばウェブサイトなど、何らかの形でその声を発信していきたいと考えております。引き続き、若者たちの声をお聞きください！

日頃からあすのばを支えていただいているみなさまに、改めてお礼申し上げます。

愛媛キャラバン・和歌山キャラバン事後報告会 開催のご報告

2020年最初の「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン」を、愛媛県で開催しました。これまでの開催都道府県は、愛媛県を含め 38 か所となりました。開催にあたり、各地でご協力いただいたみなさまに、改めて御礼申し上げます。詳細な開催報告はあすのばウェブサイトよりご覧ください(www.usnova.org)。

また、昨年 10 月開催の「全国キャラバン in わかやま」開催後の状況報告と参加者の交流として、初の試みとなる事後報告会を開催しました。その模様をお伝えします。

全国キャラバン in 愛媛

日時:2020年 1 月 19日(日) 10 時~12 時
場所:松山市総合コミュニティセンター
参加者:52 人
挨拶:八矢拓・愛媛県副知事
内容:「子どもの愛顔応援ファンド」と子ども・子育て支援の情報提供、参加団体・支援者によるリレートーク『私たちの活動&いま愛媛の子どもたちに必要なこと』

○リレートークでお話をいただいた野中玲子さん(まつやま子ども食堂/シングルマザー交流会松山代表)より、キャラバンのご感想をいただきました。

「子どもの貧困」には、体験の少なさや、人とのつながりの少なさ希薄さ、文化的なものに触れる機会の少なさなど、さまざまなものが含まれると思います。それはもち



ろん、経済的な貧困に起因するものであることも多いと思います。地域で活動するなかで、子どもたちにどの部分をどれくらい届けることができるだろうかと、常に考えてきました。しかし、私たちにできることは限られていて、無力感を感じることも少なくありませんでした。

そんな中、「全国キャラバン」がやっと愛媛に来てくれました。若者理事の東岡さん、副代表理事の村井さんのお話は、私たちを勇気づけ、またここから動いていく原動力を与えてくださいました。終了後の交流会には、県の担当者も参加してくださっており、行政との協働についても、あらためて少し光が差した時間となりました。

弱者が弱者を支援するこの国の社会の理不尽さが、いつか解消する日を見届けられますように。

全国キャラバン in わかやま 事後報告会

日時:2020年1月18日(土)
参加者:15 人

2019 年10月に開催した「わかやまキャラバン」参加者からの要望で、キャラバン協力団体の「子どもの生活支援ネットワークこ・はうす」が主催、あすのば共催で、初めての企画「事後報告会」を開催しました。

当日は、学生や保護者、医療・教育・福祉・議員などさまざまな立場の人が集まり、「学校や病院でどれほど『子どもの貧困』が知られているだろうか。まだまだ『大変な家庭』のとらえ方が違うと感じる。地道に子どもの貧困や実態を伝えていく必要がある」「学童も子ども食堂も親の関心があってつながる。親が行かなくても子ども自身で行ける居場所があると良い。やはり小学校が拠点になる」「相談が多岐になるので、ワンストップで相談を受けるところが必要」などの活発な意見が交わされました。

今後の全国キャラバンについて

2020 年 3 月 7 日(土)の開催を予定していた「全国キャラバン in 群馬」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催を延期することとなりました。開催日程については、あすのばウェブサイト、Facebook で改めてご案内させていただきます。

全国で新型コロナウイルスの感染が広がる中、子どもたち自身の生活はもちろん、子どもたちを支えるためにご尽力いただいている方々、そしてその活動にも大きな影響が出ているのではないのでしょうか。事態が終息した際には、平時と異なる状況での支援のあり方などについてもお話をうかがいながら、その地域ならではのキャラバンを各地のみなさまと共に開催させていただきたいと考えております。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

事業計画 予算

新型コロナウイルスの感染拡大の影響の 実態把握と施策実施への政策提言などに注力

3月19日に開催された理事会で、2020年度の事業計画と予算が決定しました。その概要は以下のとおりです。なお詳細は、あすのばウェブサイトに掲載しています。

2020年度事業計画の概要

新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、当年度の事業展開のみならず、寄付など財政状況への影響も、まったく予測できない状況です。2019年度までの事業実績などに基づき、事業計画と予算を策定しました。必要に応じて、当年度の途中でも、事業計画の変更や補正予算の策定なども実施していきます。

1. 調査・研究と政策提言・啓発事業

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大による影響の実態やニーズなどを把握し、講ずるべき施策について、政策提言に注力します。広報を通じて広く社会にもその必要性を訴えます。
- (2) 6月に当法人設立5周年、子どもの貧困対策法成立7周年を迎えます。5年間の感謝とともに今後の当法人の歩むべき道などについて、ともに考える場として、法設立7周年・法人設立5周年事業を開催します。
- (3) 子どもの貧困対策法とその大綱の改正で、市町村にも子どもの貧困対策計画の策定が努力義務となりました。自治体議員を対象とした「地方議員フォーラム」を開催します。
- (4) 12月には「あすのば提言2020」をまとめ、政府・各政党に強く要望します。「子ども・若者委員会」の活動を支援します。
- (5) 講演やフォーラムなどに役職員や若者スタッフなど講師派遣をします。当法人のニュースレターなどを作成し、啓発活動に努めます。
- (6) 子ども支援ネットワークづくりなどの企画・運営の業務を東京都港区から受託します。

2. 支援団体への中間支援の事業

- (1) 「子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン」を9県で開催し、当年度で全都道府県での実施を目指します。
- (2) 全国の支援団体・支援者などを対象とした「子どもの貧困対策レベルアップ研修会」を再開します。
- (3) 困難を抱える子どもや保護者に寄り添う活動へのサポートとともに、そうした団体を通じて、実態やニーズの把握もすすめます。

- (4) 行政や支援者などのネットワークづくりを拡げます。

3. 子どもたちへの直接支援の事業

- (1) 「入学・新生活応援給付金」の給付を実施します。前年度までの実績と課題などを踏まえた実施を予定しています。
- (2) 高校生・大学生世代が集う「あすのば合宿ミーティング」と小学生・中学生ら集う「あすのば合宿キャンプ」を開催します。
- (3) 若者らによる「子どもサポーター会議」と「子どもサポーター研修」を開催します。
- (4) 子ども・若者たちの発案によるソーシャルアクションを積極的に支援します。
- (5) 当法人の直接支援事業のノウハウ移転を積極的にすすめます。

2020年度予算の概要

科 目	金 額(円)
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
事業収益	720,000
受取補助金	2,410,000
受取寄附金	136,150,837
雑収益	1,300
経常収益合計	139,282,137
(2) 経常費用	
事業費合計	134,480,837
人件費	58,500
給付金支給	41,231,594
その他事業費	579,000
管理費合計	4,873,633
人件費	4,379,688
その他事業費	493,945
経常費用計	139,354,470
当期経常増減額	-72,333
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	-72,333
一般正味財産期首残高	102,356
一般正味財産期末残高	30,023
II 指定正味財産増減の部	
受取寄附金	113,700,000
一般正味財産への振替額	
寄附金振替額	136,150,837
当期指定正味財産増減額	-22,450,837
指定正味財産期首残高	124,527,119
指定正味財産期末残高	102,076,282
III 正味財産期末残高	102,106,305

あすのばカレンダー

- 1 月 19 日 = 全国キャラバン in 愛媛 (松山市総合コミュニティセンター)
 2 月 11 日 = 入学・新生活応援給付金選考委員会
 2 月 22 日～23 日 = 小中学生の合宿キャンプに向けたスタッフ事前合宿 (千葉県立手賀の丘少年自然の家)
 3 月 5 日 = 入学・新生活応援給付金前倒し送金開始
 3 月 19 日 = 第 22 回理事会

テレワーク実施のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大を受け、3 月 27 日(金)～5 月 1 日(金)の期間、原則として在宅勤務・テレワークで対応させていただくこととなりました。なお、7 都府県への「緊急事態宣言」発出に伴い、5 月以降につきましても在宅勤務での対応となる可能性があります。

お問い合わせにつきまして、恐れ入りますが、下記メールアドレス、お急ぎの方は法人携帯へご連絡ください。

- メール:info@usnova.org
 ○法人携帯:080-1987-0290
 (平日10時 00 分～18時00分)

毎月500円から継続寄付 「あすのば応援団」メンバー募集中!

毎月 500 円から、あすのばの活動を継続して支援する「あすのば応援団」のメンバーを募集しています。クレジットカードや銀行口座からの口座振替、郵便振替などでお受けしています。

あわせて、今回のみのご寄付も承っております。なお、ご寄付は 85%を事業費として、15%を管理費として大切にに使わせていただきます。よろしくお願い申し上げます。お申し込みの詳細は、あすのばウェブサイトをご覧ください。

郵便振替でのご寄付

【一般のご寄付】

○郵便振替口座 00160-1-323820

加入者名 公益財団法人あすのば

【入学・新生活応援給付金へのご寄付】

○郵便振替口座 00110-9-451185

加入者名 あすのば入学・新生活応援給付金

あすのばへのご寄付は、所得税・法人税などの税制上の優遇処置を受けることができます。

温かいご支援をお待ちしております。

ご寄付の領収証につきましても、テレワークの実施に伴い、平時よりもお届けが遅れております。ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



おおし ゆうすけ NPO
 ○法人アスイク代表理事。
 一般社団法人全国子どもの
 貧困・教育支援団体協議
 会理事、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター理事など。

リレーコラム 第18回
 あすのば抄 アドバイザー 大橋 雄介
 奇しくも東日本大震災から 9 年目の時期に、新型コロナウイルスの感染が拡大している。唐突にこれまでの日常が崩れ、これからどうなっていくのかわからない空気は、震災の当時を思い起こさせる。当法人にも「震災のときと雰囲気似ていて、気持ちが沈む」といったシングルマザーからの声が届いている。▼あのときと似ているのは、雰囲気だけではない。収入が減り、給食がなくなったために食費が家計を圧迫している家庭。一日中子どもが家にいるために、もともと悪い親子関係がさらに悪化している家庭。社会の揺らぎが、基盤が脆弱な家庭ほど崩れていく様相は、まさに東日本大震災後に私たちが直面した現実だった。▼この 9 年、子どもの貧困問題が社会的に注目され、全国に数多くの支援団体が生まれている。子どもや保護者の困りごとを受け止め、地域の中で連携しながら支える基盤は、確実に育っている。今こそ、9 年間でどれだけ社会が成熟したかが試される。